

## C-STEP事業

### 2015年度ビジネスマナー講座、夏に開催

C-STEPの支援学校等就労支援事業の一環で、支援学校等の生徒を対象に、職業観を醸成し、社会人としての「基礎力」を身につけることを目的として、ビジネスマナー講座を毎年開催しています。昨年度は、12校から3年生48名の参加があり、内37名の修了生が就職しています。今年度は、1年生を対象として、働くことの意味やコミュニケーションの取り方などを中心に学ぶことができる初級講座と2～3年生を対象とした、「ハウレンソウ（報告・連絡・相談）」の練習、面接の準備、メモの取り方などを学ぶことを目標にした中級講座を、A'ワーク創造館にて7月13日から8月27日に渡り、10コースずつ実施する予定です。

### 2015年度7月期人材スキルアップ 定期コースを開催します

2015年度も人材スキルアップ定期コースを開催します。7月期は「職種拡幅・職域発見コース」として、職歴の長い、あるいは職域を拡大したいとお考えの中高年を対象に、7月21日～8月3日の日程で実施します。本コースは、4日間にわたるビジネスマナーや履歴書の書き方、職業適性検査等のセミナーと、その後、会員企業様における1週間の職場実習のプログラムになっています。現在、参加申込の受付を行っております。

2014年度の人材スキルアップ定期コースでは、合計14名の方が修了しました。会員企業の皆様には職場実習の受入のご協力をいただき、ありがとうございました。今年度も職場実習のエントリーやご協力をよろしく願いたします。

### 人と仕事をつなぐ企業の集い2015を開催します

テーマ：障がいのある方々の雇用拡大をめざして

一人材育成と合理的配慮の実践（仮題）

日時：2015年9月3日（木）14時～16時

会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター ホール7階（ドーンセンター）

主催：人と仕事をつなぐ企業の集い2015実行委員会（大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター（C-STEP））

### C-STEP会員企業就職者激励会を行いました

2015年3月7日（土）、エルおおさかにて「C-STEP会員企業就職者激励会」を行いました。当日は、大阪府内の支援学校等出身で、C-STEP会員企業の就職が内定した生徒、地域就労支援センターからの就職者、会員企業、関係者、総勢83名が参加しました。第1部では、主催者である一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター谷元常務理事が開会挨拶を行い、次に「就職に際しての心構え」を大阪ガス株式会社人事部長人権啓発センター所長淡路匡氏からご講話していただきました。そして、「熱と光の会」の活動

について、「熱と光の会」会長の中田雅幸氏にご説明頂きました。次に「熱と光の会」入会の手続きについて説明を行いました。

第2部の懇親会では「仕事を頑張っていきたい」と多くの生徒の決意表明がありました。マジックショーでは、参加者みんなが楽しめました。今後も、熱と光の会に入会していただき、定着支援と共に交流を深めていきたいと思っております。

「熱と光の会」とはC-STEP会員企業へ就職した人達で組織された親睦会です。現在300名以上の個人会員が活動しています。

### 「熱と光の会」春の経験交流会を行いました

5月16日（土）に、滋賀県にある「ブルーメの丘」で、「熱と光の会」春の経験交流会を開催しました。参加人数は46名で、バス一台を貸し切った開催となりました。移動中のバスの中で自己紹介や近況などを発表し、交流を深めました。途中トイレ休憩をはさみ約2時間ほどで到着しました。ブルーメの丘についてから、さっそくバイキング型式の昼食を頂きました。近江米やウインナー、ソーセージなどとてもおいしかったです。昼食後は5班に分かれ班行動を行いました。動物と触れ合ったり、ゴーカートで遊んだり、談笑したり、参加者同士の交流を深めました。日頃は、違う職場で活動しているので、交流を通して参加者同士が違った気持ちで向き合える場は、大変貴重です。職場での悩みや人間関係の悩みなどを言い合える機会になっています。「熱と光の会」会員の交流を図るため、春と秋に経験交流会を開催しています。職場定着支援の場として、人間関係を築く場として今後もたくさんの活動を行っていきたく考えています。秋の交流会は10月18日（日）を予定しています。会員企業の皆様には、引き続きこうした取り組みへのご理解とご配慮をいただきますようよろしくお願いいたします。



参加者がアーチェリーに挑戦している様子



編集・発行

一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター（C-STEP）

〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3-8

中央大通 FN ビル 14 階

tel.06-6940-6600 fax.06-6910-6033

URL（ホームページ）<http://www.c-step.or.jp>

第30号

ステップ C-STEP ニュース

人間を主役にした人材雇用開発



## 女性の就労支援に向けて —地域の男女共同参画推進センターの取り組みから

一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団 常務理事 西村 寿子さん

### はじめに

日本では、1985年に政府が国連女性差別撤廃条約を批准した後、男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法の制定など、人権に根ざした男女平等を理念とする政策が掲げられてきました。地方自治体においても条例や基本計画の策定、男女共同参画推進センターが設置されています。私たちの財団は「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」の指定管理者として、センターの管理運営に携わっていますが、女性就労支援は、男女共同参画推進においても大きな課題です。

一方、現政権は、人口減少社会への対応として「地方創生」と「女性活躍推進」政策を柱として女性の就業率拡大と男女ともに子育てと就労を両立させる「働き方」の実現を掲げています（「まち・ひと・しごと創生」長期ビジョン）。このように、女性の就労・就労継続が焦点化するも、一歩でも女性が安心して就労を継続する社会をつくる努力は、喫緊の課題です。

財団は、「地域人づくり事業」（14年9月～15年8月）を受託して、結婚や出産によって退職した女性を対象に、再就職支援事業を進めてきました。ここでは、その経験から女性就労の課題について述べます（受託した「地域人づくり事業」は「非雇用型」と緊急雇用としてシングルマザー等を雇用する「雇用型」とがありますが、ここで述べるのは「非雇用型」です）。

### 「地域人づくり事業」による女性の再就職支援

#### 1) 事業の組み立て

今回の事業は、入門講座を入り口にして、「もう一度働く！」集中講座への応募を促し、集中講座受講生の就職活動を就活カフェや個別相談でサポートする組み立てになっています。（囲み参照）

集中講座は、11日間（9時30分～15時30分）と長期であり、1週間で4日間開講を基本にしています。プログラムは、パソコンスキルの習得と就活実践講座で構成されています。就活実践講座は、講義とワークショップを織り交ぜながら、各自の課題と今後の計画を明確にします。また、職務経歴書の作成や労働基準法や雇用保険、社会保険など働く上での基礎知識、ハローワークの使い方などもプログラムの一環です。

7月には、ハローワーク池田と共催で合同企業面接会や事業者向けセミナーを予定しています。

### 事業の組み立て

- ・入門講座（毎月1回開催、半日講座、定員25人）
- ・「もう一度働く！」集中講座  
（1年間で4期開講、11日間・約50時間、定員18人）
- ・就活カフェ（毎月1回開催、2時間、定員10人）
- ・個別相談（希望者、1回1時間）
- ・合同企業面接会、事業者向けセミナー

### 2) 受託事業「地域人づくり事業」の経験から事業を通して分かってきたこと

第1に、定員の2倍を上回る応募状況から「もう一度働く！」集中講座への市民ニーズの高さです。

第2に、講師や事務局の情報共有やアンケートから、再就職を目指す女性たちが、ブランクによって想像以上に自信を失い、自己肯定感が低いことが分かってきました。「男は仕事、女は家庭と子育て」という性別役割意識とそれにもとづく生活スタイルが、女性たちの一歩を困難にしていると伺えます。

第3に、入門講座・集中講座・就活カフェ・個別相談という連続した重層的なサポートによって、講座受講生の50%以上が再就職しました（3月末現在で1期、2期受講生36人中18人）。再就職に必要な「意欲・スキル・情報」を一体的に高める集中講座によって受講生が踏み出すことを可能にしています。

いま、事業を通して感じていることは、結婚や出産で退職し、就労する上でブランクのある女性たちの課題を個人的な問題ではなく、社会的な課題として捉える視点の重要性です。家庭状況や本人の意欲などは、一見、個人的な課題のように見えますが、その背景には、育てられ方や性別役割を前提にした働き方・生活スタイルなど社会のあり方と関わっています。社会的な課題として捉えた時、女性たちに再就職に向けた学び直しの場を継続して提供する意義もまた明らかだと考えています。

### 第2回すてっぷ事業者向けセミナー

- ・日時：7月17日（金）10時～12時
- ・場所：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ  
（阪急宝塚線豊中駅西側 エトレビル5F）
- ・内容：「24時間工場でのワーク・ライフ・バランスの試み」  
（敷島製パン株式会社大阪豊中工場）  
「女性雇用を促す法制度と企業の課題」  
（NPO法人あったかサポート常務理事 笹尾達朗）
- ・お問い合わせ：06-6844-9773

## 日東カストディアル・サービス株式会社

西日本総括

小野 徹哉 さん

### 雇用の促進・人材育成

建物の清掃、保安警備、設備運転はもちろんですが、お客様からのニーズをいただければ何でも成り代わって仕事を代行します。そのために、常に、雇用の促進と人材の育成に全力を尽くしています。今では、社員が8,000名以上になりました。入社後は、まず仕事に慣れるように、先輩社員が直接現場で丁寧に指導教育を行い、新人を一人前に育て上げ、いずれは後継者に成長させる社内風土ができあがりました。仕事に行きたいな、仕事が楽しいなど思える環境をつくることを管理社員に徹底しています。

労働市場は、全国的に少子高齢化が進み、中長期的に労働人口が減少していくことが予想されます。実際に業務を行うマンパワーが不足傾向の中で、いかにして優秀な人材を育成し、効率化や機械化を進めていくかが課題となっています。

平成24年に閣議決定されております「観光立国推進基本計画」にも、日本を訪れる外国人旅行客数が年々増加し、都心部のホテル客室稼働率が比例して上がっていくことが予想されています。ところが、ホテル向けサービス商品の一つである「客室清掃管理業務(ハウスキーピング)」の従事者数は、ここ数年慢性的に不足傾向にあります。

### 「出前授業」取り組みの経緯

平成22年6月に、一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター(C-STEP)の相談員様と面談させていただき、橋下大阪府知事(当時)が障がい者雇用に特に注力していることを教えていただきました。「府立たまがわ高等支援学校」でバックヤード授業の一環としてベッドメイクが取り上げられていることも相談員様から伺いました。

早速、学校に向いてご担当の先生にアプローチしました。各市町村の支援活動団体から紹介を受けて働いていただくケースはありますが、学校教育の場に参加して当社の指導スタッフが直接子どもたちに技術指導を行い、「ベッドメイク」という仕事を知ってもらい、「ベッドメイク」は楽しいなと感じてもらい、その上で当社への就職に興味を持ってもらいたいという当社の思いを先生にお伝えしました。

出前授業を通して、仕事を覚えることの大変さと、その仕事を自分で思ったようにできた時のうれしさを実感した上で、ホテル

### 会社の概要

日東カストディアル・サービスの仕事は、一般的に「ビル管理業」や「ビルメンテナンス業」と呼ばれています。ビル以外では学校、病院、官公庁施設、ショッピングモール、ホテル等、建物の特性にあわせた最適なサービスをお届けしています。戦後の高度経済成長と並行して大気汚染や水質汚染、化学物質汚染が社会問題化する中で、地球環境に配慮する、安全を重視する基準が法整備されるようになりました。弊社は、昭和38年に創業して50年余、常に感謝と奉仕の気持ちを込めてお客様に喜んでいただく為に、そのニーズに合った最適のサービスを追求しています。「カストディアル」という社名には、お客様の資産に付加価値をもたらす、そして最高のサービスを提供して喜んでいただきたいという創業精神が込められています。



ベッドメイキングの出前授業風景

の現場に職場実習に来てくれれば、更に効果的学習になると思っています。生徒本人が自発的に社会に必要とされるマンパワーになろうと挑戦すること、成長したいと思えるように背中を押してあげること、そして、将来必ず戦力に育成することが、基本コンセプトです。先生方の協力を得て、試行錯誤の段階ですが、昨年から出前授業実現にこぎつきました。

### グローブシップグループとして大事にしていること

グローブシップグループは、「快適環境創造企業」のリーダーを目指す業界のトップクラスのグループです。弊社も、このグローブシップグループの一員です。「GLOBE」には地球環境、「SHIP」にはこころざしと船の2つの意味を込めています。地球に優しいグループであること、お客様と従業員が同じ船に乗り、共に明るい未来を目指すことを大事にしています。

平成27年度の新卒として、C-STEPご紹介の2名の生徒が当社に入社してくださいました。まだ入社して1ヶ月ではありますが、ベッドメイクの仕事にチャレンジしています。吸収が速くどんどん成長しているとの報告を受けています。

今後は、出前授業を継続して、いつかこの2名が教壇に立つ日を夢見ています。そして、出前授業を受けた生徒たちが、いつの日か当社に入社してくれること、もしくは、どこかのホテルでベッドメイクの仕事に就いて活躍してくれることを、楽しみに、心待ちにしています。

## 人材育成の現場から

# C-STEP人材育成事業 模擬職場実習について

一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター

障がい者就労支援室主任 江頭 直幸

C-STEPが実施する模擬職場実習は、支援学校等の在学3年生を中心に、企業における職場実習の準備指導が2011年度より「支援室事前実習」という名称で始まり、「準備指導」、「模擬職場実習(以下、模擬実習)」と名称変更しながら、今年度で4年目を迎えました。この模擬実習の目的は、①自己理解を深め、就労への自信を高める。そのために、実習生の気持ちを聴く。②社会人として身につけることや働くことの自覚を深める。③希望職種を理解をすすめる。④「企業にどう関わってもらえばいいか」を伝えられるように障がい特性を把握する、としています。

### ■3日間の模擬実習プログラム

1日目	2日目	3日目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・C-STEP事務局へ挨拶</li> <li>・引率教員同席の面談</li> <li>・実習ノート作成</li> <li>・セミナー「働くこと」</li> <li>・事務局とのメール便集配</li> <li>・掃除(掃く・拭く・トイレ)</li> <li>・ビジネスマナー「挨拶」</li> <li>・作業(ボールペンの組み立て・ジャンパー袋詰め・名刺作り)</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の振り返り</li> <li>・セミナー「給料の使い方」</li> <li>・メール便の集配</li> <li>・作業(左記のものを順に)</li> <li>・掃除(左記のものを順に)</li> <li>・ビジネスマナー「身だしなみ」</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の振り返り</li> <li>・キャリアカウンセリング「希望職種・自己理解」</li> <li>・メール便の集配</li> <li>・掃除(左記のものを順に)</li> <li>・作業(左記のものを順に)</li> <li>・C-STEP事務局への挨拶</li> <li>・引率教員同席の3日間の振り返り</li> <li>・修了式</li> </ul>

作業ごとに実習生を観察し、実習生の優れている所と苦手な課題を記録し、改善策を探していきます。基本は、支援者は実習生のそばに密着するのではなく、報告・連絡・相談等を通して実習生がどういう特性を持つのか、迷いやミスをなくするためにどんな支援が有効なのかを的確に把握し、次の実習や企業の担当者に伝えることをめざします。

しかし、時には自己理解や自己肯定感に課題を持つ実習生の場合は、1~2日間の作業項目を減らして、丁寧に傾聴し、気持ちを

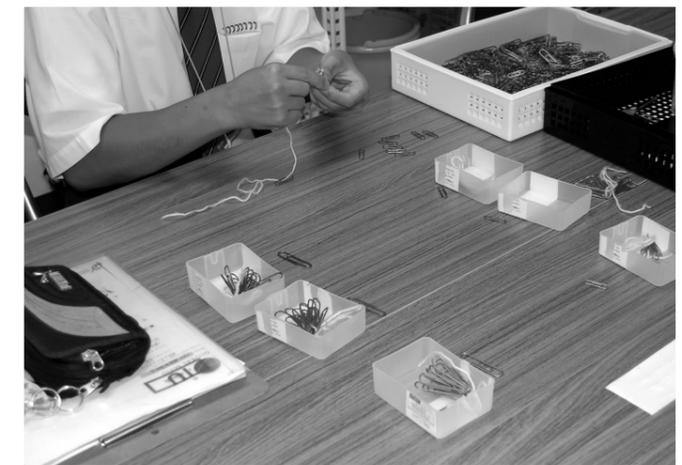
### 実習生からの声

#### ~昨年度の模擬職場実習を受けたA君のお礼の手紙より~

私がC-STEPでの3日間の実習で一番がんばったことは、3日目のジャンパー折です。最初はわかりませんでしたが、スタッフさんに教えてもらおうと、かなり上達しました。その時は集中して作業ができたと思います。そして、それで勉強になったことは生活費のことです。生活するには、長時間働かないといけない思い、お金をためるためにどれだけ苦労しないと

解することから始まります。また、自分史や心の不安や生きる意味を支援者と共に考えます。そして、3日目に顔を上げ、きらきらと瞳を輝かせて就労への希望を持ち始める実習生もいます。また、事務職希望の実習生に、3日間で9~10時間をパソコンのエクセル研修(①一覧表作成 ②関数を使った表計算 ③テストの点数合計・平均 ④在庫表作成 ⑤情報処理検定4級・3級等)に費やした時もありました。スーパーでの就職を希望する実習生には、障がい者就労支援室近くのスーパーへ出かけ、バックヤードの見学をしたり、家電量販店での就職を希望する実習生には、電器メーカー名のシートを作成し覚えたり、面接を控えた実習生には面接練習を行うなど実習生のニーズに合わせて研修内容を入れ替えます。

昨年度の模擬実習の修了生は、50名を超えました。ここでの実習を終え、企業や事業所にたくさんの就職者を出すことができ、大変喜んでおります。障がい者雇用の拡大のため、会員企業の皆様には、引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



大きさと色を合わせて束ねるクリップ作業の様子

いけないかよく分かりました。今後は、この経験をいかして、秋の企業実習の時も言葉使いに気をつけながら、就職に向けてがんばって内定を取りたいと思います。支援員のSさん・Mさん、3日間私をご指導していただいて本当にありがとうございました。